

校長室だより

# 中 緑 鷹

第 37 号

令和8年1月28日(水)

[発行者] 三苫 淳一

スローガン: ○凡事徹底で生活の基礎固め~基本的生活習慣のレベルアップ

○全力燃焼~過程(プロセス)重視



1月27日(火)避難訓練を行いました。訓練日時を生徒・職員に予告せず、地震後に火災発生という想定での訓練でした。さらに、児童・生徒が教室に揃っていない昼休みの時間帯に行い、各自の判断で行動・避難することを重要視しました。地震放送の直後に、カメラを持って2階に駆け上ると、生徒はほとんど机の下に潜り頭を守っていました。避難する際、昨年は「あいさつ広場」で自発的に小学生に声掛けをしてくれている生徒がいたのですが、今年は各所で声掛けをしてくれたみたいです。また、職員は細かい役割分担をせず、状況を見てコミュニケーションを取りながら臨機応変に動くことを年度当初に確認していますが、逃げ遅れがないかの確認と情報共有はできました。出火元となった理科室の前に消火器が3つ届きました。昨年は1つだったので、今年3つに増えたことは評価できると思います。生徒も事後アンケートで、自身の行動を振り返りました。



## <避難訓練の感想>

### 7年生 穴井 楓龍くん

僕は図書室にいた小学生が困っていたので、並ばせて誘導しました。今後もこのような行動を心がけたいです。

### 7年生 木村 武輝くん

教室にて、地震の放送ですぐに机の下に隠れました。その後はしゃべることなく避難ができました。今回の訓練が活かせるように常に心掛けたいです。

### 8年生 向井 孝くん

久しぶりの避難訓練でキビキビ動けるか心配でしたが、落ち着いて行動できました。

### 8年生 新川 麗奈さん

私はランチルームにいました。上手く避難できだし、ちゃんと「おはしも」もできました。

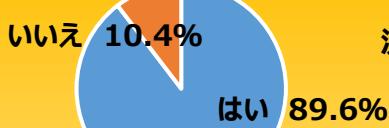
## 9年生 河津 地洋くん

地震の放送があった後、自分で賢明な判断ができたと思います。このような訓練をいざという時に活かしていきたいです。

## 9年生 上原 芽依さん

私は地震の放送の時、2階の廊下にいました。正直あせりましたが、落ち着きを取り戻した後は静かに避難ができました。

火災発生と避難指示の放送を聞いて、避難するルート(どこを通って避難するかの道順)を即座に判断できましたか



## 事後アンケート(改善したい点)

- 小学生がいたら声をかけられるように周りを見たいと思った
- 避難経路を考える
- 自分で判断し行動する
- 冷静に行動できるようにしたい
- 常にハンカチを持っておく
- 避難の時に姿勢を低くする

左の質問で「いいえ」と答えた人は、何を基準に避難するルートを決めましたか



匿名希望の「あしながおじさん」から、「受験生応援商品」が9年生にプレゼントされました。この商品は、お菓子や食品を製造している会社と福岡県の高校生が共同開発したもので、今年で13年目になる企画らしいのですが、TVで取り上げられているのを見て、「同じ校舎内で一緒に生活をしている9年生を応援しよう」と思ってくださったそうです。受験シーズンに突入した9年生にとっては心強い応援になりました。

プレゼントありがとうございました。それぞれ行く高校は違いますが、みんなが第1志望の高校に行けるようにこれからも頑張って勉強します。いただいたプレゼントは合格を願いながら大事に食べます。 五藤 美幸さん

素敵なプレゼントありがとうございました。受験は団体戦。これからもクラスメイトと協力して頑張りますので、応援よろしくお願いします。 河津 丈介くん

